

策を講じておく

もし大きな地震が起こったら……。起こってほしくはありませんが、もしもの時のために準備をしておく必要があります。

家庭で備えておくと役立つ主な物を下にご紹介します。地震発生時には、三日間くらいは食糧などを自分で賄わなければなくなる可能性があります。この期間を少しでも不自由なく過ごすことができますよう、非常用品を蓄えておいたほうがよいとされています。

ただし、いざ避難するとき、に重くて持てないというのは、意味がありません。必要な物は何か、家族で話し合っ



総合防災訓練で水を受け取る様子。地震に備えて、水の蓄えは必要です

てみてはいかがでしょうか。

家具などの転倒防止や、火災防止も地震への備えです。

寝室にできるだけ家具を置かないことが大切です。阪神・淡路大震災の負傷者の多くは、家具などの転倒・落下によるものでした。

家具の転倒を防ぐには、タンスや食器棚の下に板や耐震粘着マットなどを差し込んだり、はりや柱にし字金具やポール式の支えなどで固定したりする方法があります。食器棚は、中の食器の飛び出し防止のため、扉に止め金具を付け、ガラスの飛散を防ぐために防止フィルムをはると効果的です。

転倒防止は、家の外にも目を向ける必要があります。プロパンガスのボンベや植木鉢、ブロック塀など、倒れやすい、崩れやすい物があれば、補強をしておきましょう。

火災防止のためには、消火器を常に備えておき、ガス台や冬場はストーブの周辺を整理しておくことが大切です。出かける前や就寝時にはガスの元栓や灰皿など火の元の確認をしておきましょう。

非常時のために備えておくと役に立つ物

生活用品

- 手袋または軍手
- 衣類（できれば長袖）・下着類（赤ちゃんがいればおむつも）
- タオル
- 懐中電灯
- 現金（小銭があると便利）
- 水（1人あたり1日3ℓを3日分）
- 保存食（赤ちゃんがいれば粉ミルクも）
- 携帯ラジオ
- カセットコンロ・カセットボンベ

- 救急セット（薬品・ばんそうこう・包帯など）
- ろうそく・ライター・マッチ

- ナイフ
- 雨具
- ティッシュ
- 乾電池

救助用品として役に立つ物

- スコップ
- のこぎり
- ボール
- 車のジャッキ

過去の震災では、こんな物も役に立ちました

ラップフィルム…食器にかぶせて使い、食後にラップを外せば、食器を洗わなくて済みます

ウェットティッシュ…水が不足しているときに、顔や手などをふくことができ、傷口をふくときにも使えます

ビニール袋…大きな物は、中央部に穴を開け頭からかぶるとかっぱ代わりに、段ボール箱の中に入れて簡易トイレに使い、水の運搬にも利用できます

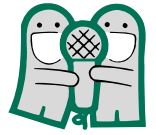
お風呂の水…断水した際に、トイレや洗濯用として使えます

カイロ…冬、暖をとるときに使えます

スリッパまたは底の厚い靴…枕もとに置いておき、もし地震が起きたとき外に出る際、ガラスなどの破片を踏まないようにするために使います

携帯電話と簡易充電器…通話ができなくてもメールができたという事例があり、また、停電時に画面の明かりを懐中電灯代わりに使うことができました。充電器は電池式と車で充電できる物があります

ホイッスル…家屋倒壊などで閉じ込められた際、自分の存在を知らせることができます



Duet

デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を
紹介するコーナーです

あて先Ⅱ〒350-8601川越市役所広報室「デュエット係」▼ファク
スⅡ25-2171▼EメールⅡkono@city.kawagoe.saitama.jp
*必ず住所・氏名・年齢・電話番号をご記入ください。
*匿名・ペンネーム希望の場合は、その旨を明記してください。

川 辺にぼつんと立っ
るコサギのすがたは、
なにかもの悲しさがたど
っている。ほんとうは餌を
探しているのだろうか。

そのすがたを不老川に見
けることが、ここたびたび
ある。むかし、ビニール袋
の浮いたどろどろした黒っ
川辺をおもいだす。川の環

に携わっている方々のご苦
勞を思いわずれず、川の浄
化を市民として心にとめて
おきたい。

宮澤宏次（藤間）

■広報川越から
引き続き、「しろ」にまつ
わる話をご紹介します。
コサギの目には、きれいに
なった不老川が、どう映っ

いたのでしょうか。河川の環
境を守っている皆さんに感謝
しているのかもしれない。

◎ ◎ ◎

押 入れを整理していま
ました。風呂敷につま
みられた物が出てきました。私
は胸おどらせてあげてみまし
た。その中から、白いブラウ
スと白い毛糸のレースであん

だカーディガンでした。私は
うれしくなって青春がよみが
えりました。
きてみて、せすじをのぼし
て桜の花の下をあるくとうれ
しきでいっぱいです。白は清
楚で心もすっきりいたしま
す。白はいくつになっても、
うつくしくよいと私は思いま
す。（二部省略）

吉田聡子（寿町二丁目）

■広報川越から

青春時代の思い出は白
色。きっと、さわやかで美
しい日々を過ごしていたので
はないかと、お便りから感じ
ました。
◎ ◎ ◎
*ふりがなは、広報室で付
きました。

市長通信

第9号



総合防災訓練を実施しました

8月19日に第28回総合防災訓練を芳野小学校で実施しました。芳野地区13自治会の皆さんをはじめ、各関係団体、会社の参加をいただき実施できましたことに感謝申し上げます。

防災訓練は、毎年場所を変えて実施しています。いざ鎌倉というときのために、実戦と同じように準備する必要があると思うからです。

新聞・テレビでご承知のように平成16年には新潟県中越地震がありました。ことしに入って能登半島地震、そして7月に中越沖地震が発生しました。数年のうちに新潟では2回の大きな地震に見舞われ、また最近では、南米のペルーで大きな地震があって、津波が太平洋を越えて、日本でも観測されています。

市は、災害時に備え、非常用給水井戸を22か所設置し、食料・生活必需品の準備や災害時の相互応援協定も高崎市をはじめ各関係機関と提携しておりますが、今後どのような災害が起きるかわかりません。どんな災害が起きても対策がとれるように、この防災訓練が必要であります。

8月の非常に暑い時期ですが、関東大震災が大正12年の9月1日に起きており、この日にちなんで、9月1日が防災の日指定されました関係で、この時期に行っております。

私は、このような地震災害などに備え「自分たちのまちを自分たちで守る」という「自助・共助」の考えに基づいた自主防災組織の活動がたいへん重要と考えております。今後もこの訓練を契機として、安全で安心に住むことのできる川越市づくりのために最大限の努力を払ってまいります。

川越市長 舟橋功一